

令和5年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）に係る 大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日 時

令和4年12月23日（金曜日） 午後3時00分から午後4時30分まで

2 場所

エル・おおさか 本館11階セミナールーム

3 対象事業

離職者等再就職訓練（知識等習得コース、企業実習付コース）に係る事業者選定

4 選定委員

中島 康之（大阪府社会保険労務士会）
長町 理恵子（追手門学院大学経済学部）
池内 宏行（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部）
塚本 文彦（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部
近畿職業能力開発大学校）

5 審査方法

令和5年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）企画提案公募要領記載の審査基準に基づき、4名の選定委員会委員が書類審査を行い、令和5年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）企画提案公募要領の6の(2)審査基準の配点に基づき採点・評価した。

6 議事概要

令和5年度に実施する大阪府委託訓練（離職者等再就職訓練）の実施事業者を選定するため、企画提案公募を実施し、応募のあった事業者の企画提案についてその内容を選定委員会で評議するとともに、得点の高い順に公募科目に応じて選定した。

7 選考委員発言等要旨

- カリキュラム内容、就職支援内容の評価、採点にあたっての考え方等について意見があった。
- ・就職支援の取組みについて、具体的な取組みの記載がある提案は高く評価した。しっかりと書いている提案事業者と、少ししか書いていない提案事業者の差が大きいと感じた。
 - ・就職支援策として、職員の配置体制や就職率実績は重要であり、そのためにも個人の状況をしっかりと把握・支援できるクラス担任を配置するなど、外部に頼らない就職支援を行っている取組みは高く評価した。
 - ・求人・求職ニーズを踏まえたカリキュラムの提案がなされているものは高く評価し、そうでない提案は評価を低くした。
 - ・自由提案科目について、求人ニーズの把握を学生対象にしているため、本事業の対象者である離職者とは異なる内容となっている提案があった。
 - ・昨年度もあったが、自由提案科目について、提案科目名とカリキュラム内容がリンクしないものが見受けられ、訓練を受講しようとする方に誤解が生じないか疑問に思った。
 - ・訓練設備の整備の必要性を述べている提案があり、共感するところはあったが、それに対して具体的な提案がなかったのは残念であった。